

中等學校の家事について

「中等學校の家事について」題は随分大きくございませぬのに私共この生徒の身分を以て、如何程考へても此大きなこと、の出来る筈がないとは誰方も御思ひになること、存じます、然し私共は此問題に對して出来るだけ、地方でまたは都會で中等學校の家事に對してどんな要求を持つて居られるか、どんなに評して居られるか、大きな事小さなこといろ／＼御聞きして、後々實際の教授にあたつて躓かぬやう、一定の主義と、自信とを以てして有効なる教授をなし生徒をして將來良妻たり賢母たらしめる素養の重なるものとする事が出来るやうにありたいといふ考から多くの方々のそれに對する御意見を直接間接に廣くお聞きして皆様の御参考までに御取次ぎ申し上げ度いと思つて居りましたが何分にも時日がなく、廣く手を配ることが出来ませんでしたから、唯先生方の御意見を御伺ひいたしましたり、近頃の新聞や雜誌に載つて居る主だつた方々の御意見をあつめ猶手近に聞かれる方々から地方の家事について御伺ひいたしましたのに過ぎませんから、あまり大きな題に對して皆様に御満足をおあたへ申すことが出来ないのを誠に申わけなく存じます、先づ此れを御傳へする前に大體現在の中等學校の家事ではどんなことを教へて居るかを申し上げますと思ひます、法令に示されたる高等女學校教授要目になりますれば。

三年。

家内の整理。

住居の修理保存、掃除、室内の設備、衣服什器の撰擇保存及其整頓、裝飾、戸締、火の用心等。

家事衛生。

採光、換氣、排水、洗濯、清潔法等。

飲食物の調理。

日常食品、嗜好食品、飲料水、飲料、調理、献立、貯藏等。

調理に關連して食品、庖厨器及燃料に關する事項を授くべし。

實習。

洗濯、張物、汚點拔、掃除、磨物、飲食物の調理等。

四年。

育兒。

妊娠中の心得、出産、嬰兒の取扱方、哺乳、離乳後の食物、小兒の衣服、運動、睡眠、疾病、言語動作、遊戲、玩具、躑け方、就學、學校と家庭との關係等、

教育を授くる場合には言語以下を省く。

養老及看病。

衣食住の注意、介抱、薬用、危篤者の取扱、應急手當、傳染病及其豫防、消毒法。

家事經濟。

家計簿記。

實習。

前學年に準じ更に應急手當を加ふ。

修學年間五ヶ年のものにありては第四學年に於て家内の數理、家事經濟を授け其實習としては洗濯、張物、汚點拔、掃除及廢物をなさしめ第五學年に於て飲食物の調理、應急手當等をなさしむべし。

とございます、女子師範學校のも實科高等女學校のも大抵これと同様で實科では、なほ實習の時を多くするやうにとの注意があるだけです。から此處には省きます。

さてそれについての評を申しあげてみますと第一には「現在の家事科ではやかましく云はれて居る割合に効果があつて居らぬ別に具體的の案はないけれど兎に角大いに改革すべき學科である」私共家事の教授に關係あるものは大いに考ふべき問題であると存します、また。

「家事はすべて實習の學科である、故に實習の出来ないやうなことは他の學科にわりあて、教へるやうにし度い」即「女學校の要目にある各學科特に物理、化學、博物、生理、衛生、修身、教育等すべて家事本位として教へ家事科としては別に此等の學科をまたあらたに繰り返して教へる必要はない」といふ説もございます、なほまた。

「現在の家事の授業を參觀すると教室で先生のお話を伺ふ必要のないことが澤山ある、例へば割烹の教授等の時に清潔にすべし等といふことをくたくしく云ひきかせなくとも實習をして見せて教授者自身がキッチンと身づくろひをして清潔の模範を示せば生徒は無言のうちに割烹する時は必ずさうすべきものと習慣のやうに覺えてしまふ、失火の時の注意をしてみだりに火事場に近よつてはならないとか、何を一番早く出すかを前以てきめておくやうに等といふことを教へるのは不用である、落ちついた人ならばきかなくとも出来る」と。また次のやうなお説もございます。

「家事科にして健全なる思想と技能とを得しむには、家事科の基礎たる諸學科(主として物理、化學、生理、衛生、博物、修身、教育等)に精通せねばならぬ」。

「理化學の立場からみて往々非難すべきやうな事項を教へることがある、思ふに博物や其他の學科からみても同様の非難をうけることがあるであらう」また次のやうな御主張もございます。

「家事といふもの、範圍を狭い意味に解して例へば掃除、洗濯、料理、看護、簿記、子守等の如き

主として技能に屬する練習を本義とするものであるとして其根本的の理解即ち衛生の本意、家族の健全、家業の内助、家事の經濟、家庭教育社交の如きことにつきて考究することを閑却する傾向がある」又「家事の基礎たる諸學科に精通するばかりでなく精神修養があつて、而も妻として母として嫁として姑としての經驗ある人にして、はじめて眞に家事を教へることを得るものである」、無經驗な私共は此點に何とか工夫してよく經驗ある方から伺ふやうにしなければならぬと思ひます。

今度は少し細かいことになりましたが。

「都會と田舎とは其の教材及教授の方法は自ら異らしめねばならぬ此の學校で學びたるまゝを地方にあてはめて教へることは宜しくない」此の點については實に私共の大なる努力を要することでございます本當に家事には其經濟の状態が少くとも上中下三等ある上に土地の風俗習慣やまたそれらの家風があるのでありますから其の間に立つて基礎を學理の上におきそして人情風俗にもとらず經濟状態にそむかず徐々に向上進歩をはかつて完全圓滿なる生活に向はしめやうとする此の家事科の目的を達する事の難いことは申すまでもありませんそれについて又次のやうなお話をも伺ひました。

「例へば或る地方では西洋洗濯はあまり役にたゝないで張物の改良法などを教へる方が適當であ

る」とかまた「教科書は大抵都會本位であるから地方へ行つては殆あてはまらない先づ其の地方の土地の習慣狀況等をよく調べて教へなければならぬ出来るなら其の地方に適切なる教科書を自分で作るやうな意氣込と素養とを持つて居らねばならない」また。

「今少し經濟思想を吹き込みながら節約の方法を教へ質實の習慣を養ふやうにしたい誰でもさしあたつて適切だと思ふのは一家の經濟をうまくきりまはすことの出来る女をつくりたいといふことである」先日的高等女學校長會議に於ても「高等女學校及實科高等女學校の生徒をして一層質實にして且勤勞を好むに至らしむる方法如何」といふ問題が提出されたといふことを見ても現在の女學生に當局で如何に質實を獎勵するかがわかりますかやうな事も學校で幾分其の教へる教材が其の生活の程度より高いものである事によるのではないかと思はれますこれに似よつて。

「家庭に間におふ事をしつかりと教へこまれたい」といふ評もございませうこれは學校で習つたことを生徒が應用しないといふ事もわるいれど教授の方法も餘程考ふべきものがあると思はれます、なほ細かな批評では。

「設備が不完全といふことをは何處の地方でも共通なことでございませう教授法を考へて少しの道具をもよく利用してほしい」また。

「専門家にたのみ得ることは家事でさほど深く教へるには及ばない」

生徒をして今少し多事に對する興味を持たせる様にしたいこれは先生の方でもよほど興味を持ち居らなければならぬと思はれます」あの地方では割烹の時に献立を作ること材料の量をはかり物價をしらべて直接商人と取引することなどすべて生徒にさせるさうですがこれは誠に結構なことと思ひます。それから

「時間がだらだらになりやすい」

家事科に對す要求としては先づこの位にとゞめまして考へて見ますと家事といふ學科は要するに外の學科よりも複雑なものでございまして私共のやうな單純な頭では解することが出来ないものでございませうが低ければ低いなりに次のやうなまあ理想のやうなことを一二申上げて見たいと思ひます。

一体女學校の各教科は中學校のそれとは異つてあまり専門的であることを避けて出来るだけ家事本位にする方がよろしからうと思はれますそして家事としては實に之を實際に應用する方法をしっかりと教へこむのが肝要と存じますそれから家事科の教師は諸學科についての専門的の智識はなくとも矢張りそれらの教科に對して大要を心得て居て學理と實際との連絡調和を計るといふことは必要でありますまた土地の狀況に應じて教材を撰擇するといふことはどこへ奉職してもすぐ考へなければならぬ事と存じますまた今のうちは大抵の學校がこの學校のやうに設

備が完全でございせんから少の道具もうまく使つたり教材もそれに應じてよく組合せて教へ設備の如何にかゝはらず出来るかぎりの意氣込みを以て効果をあげるやうに務めねばなりません先生の實驗談は餘程生徒が興味を以て聞き印象も深いものですから適當なときに出来るだけ有益なことを數多く話すやうにいたしました方がよろしいと思ひます以上あまりとりとめのないことをくたくしく申上げまして失禮いたしました。

倉橋先生の御話

吾々の生活の苦心即ちうまい具合に生活するに就て考へべき問題は種々ある又方面も種々あるが大體二つに分ることが出来る其一つは善き生活で成る可く善をとる、これは如何なる時に於ても同様であらう其二は得な生活をする事で欲張りの様であるが損をせぬといふ事である、損をして善い生活をするのも悪くはないがよい事をして得な生活をしたといふといふのが一般である、殊に私共の側から見ると技藝科家事科に關する皆様の研究は固より生活の善なる事であるが殊に得なる生活をする事に基礎を置いて居る研究であらうと思はれる。近頃あまり打算的になりてあまり損をしまいとするために墮落俗惡に陥るが例外は除いて人生を經濟的に得する事は誰も考ふべき事である。